

山弓連

平成18年
7月発行

対外行事派遣者 報告

(理事長・笹本)

- ① 全国ねんりんピック大会
(10月28日～29日) 静岡市
(男) 金子 力、中込 明、西堀泰弘、菱山忠夫、
補欠 長田長久
(女) 坂崎満子 補欠 藤巻昭子
- ② 全日本関東選考会(7月16日) 横浜市
男子 河西伊佐男、佐野辰巳、芦澤茂幸
女子 標 衣枝、佐野弥生、水上梨沙
- ③ 関東選抜選手権(9月10日) 前橋市
称号者の部 河西伊佐男、佐野辰巳、中込実、
望月勝男、標 衣枝
有段者の部 矢野宏幸、水上梨沙、矢頭恵造、
細野晃史 標 輝人

18年度審査集計報告

受審日 平成18年5月21日

段級位	受審者数	合格者数	欠席者
査定3級		1	
査定2級		5	
査定1級		15	
査定初段		12	
査定	35		3
初段	47	17	2
二段	34	11	1
三段	25	6	
四段	14	1	1
合計	155	68	7

- ※受審者に対して合格者が少なかった。
- ※受審者のマナーが良かった。
- ※今回は中学生の受審者が増えた。
- ※次回からアーリーナーの控え室はない。
- ※今回は学科の不合格者が多かった。

(審査部長・佐野)

増穂町あやめ祭弓道大会 平成18年5月14日

緑が目にしみ、あやめが咲き誇る殿原弓道場に於いて第27回を数える弓道大会が行われました。
参加者は県内外から93名の弓友が集い、9時より開

会式、矢渡と続き、9時半より競技に入る。近的、遠的に個人戦で各8射行射、各選手とも日頃鍛えた技を如何なく発揮され真剣なうちにも和やかな雰囲気で行進し、午後3時半盛会のうちに終了する事が出来ました。競技結果は次のとおり。

近的 1位 藤原直之(7) 笛吹市
2位 石川克己(6) 笛吹市
3位 坂巻雅夫(6) 笛吹市
遠的 1位 望月勝男(7) 身延町
2位 坂巻雅夫(6) 笛吹市
3位 水谷哲也(6) 南アルプス市
総合優勝 坂巻雅夫 笛吹市

(増穂町 体協弓道部長 土橋 享)

南部あじさい祭り弓道大会

70種2万5千株のあじさいの咲いている、南部で6月11日100有余名の参加者をむかえ大会が行われました。

成績は次の通りです。

男子の部(近・遠的) 優勝 焼津支部 岡村 行博
準優勝 富士吉田支部 加賀美武房 第三位 琴平支部
渡辺 武彦 女子の部(近・遠的) 優勝 焼津支部
早崎栄里子 準優勝 小田原支部 鈴木 典子
第三位 伊豆支部 岡田絵美里
金的賞 1番金 都留支部 酒井 紀夫
(6cm的) 2番金 大月支部 小泉 昌未
花的 十二支 (12cm角)

(南部町・佐野辰巳)

第26回 山梨県中学校弓道選手権大会

6月18日に石和清流館において

大会の運営は、石和町弓道連盟の方々と石和中学校弓道部の準備のおかげで、滞りなく終了することができました。

体配・射技に関しては、入退場や執り弓の姿勢、座る姿勢、矢の処理などよく意識されている選手もありますが、多くの選手は、まだ十分な反復練習がなされておらず、とまどう場面も多く見られました。

また、的中を焦るため妻手親指に力が入り、会が充分に保たれず、離れの後に体が崩れる選手も多かったように感じました。男女ともに的中数は、近年の成績と比べても低めではありますが、各校とも抜き出でた一部の生徒の的中が全体をリードしているように思えました。

射候は、個人12射、団体12射×3名の36射

参加者 男子57名(団体6校)、

女子135名(団体10校)

男子団体 第1位 19中 櫛形中学校 名古屋誠・

入倉 大・近藤健太 第2位 12中 都留第二中学校
小俣佳祐・太田陽樹・滝口宏樹 第3位 9中 増穂中
中学校 五味舜士・大河内大弘・志村悦宏

(3位は、射詰め競射)

男子個人 第1位 11中 榊形中 近藤健太、
第2位 9中 都留二中 佐々木翔太
第3位 8中 増穂中 千頭和遼馬
女子団体 第1位 14中 石和中学校 石川奈央・
松下ひかり・高取朋世 第2位 12中 増穂
秋山美香・望月菜央・鮫田絵里 第3位 12中 榊形
中学校 名取里恵・米山由貴・中込真帆

(2・3位は、射詰め競射による)

女子個人 第1位 8中 榊形中 高取朋世、
第2位 7中 河口湖南中 古屋 玲
第3位 7中 石和中 東田悠乃

(2・3位は、遠近競射による)

(報告・下吉田中学校 小林隆英)

第15回甲府市長杯争奪県下弓道大会

平成18年6月4日(日)

恒例の市長杯争奪弓道大会が、県内の弓道愛好者と甲府市内の高校生、大学生を多数迎えて盛大に開催されました。特に今年は、宮島甲府市長の開会式への出席をいただき、数ある武道の大会の開会式に出席しているが、神前に拝礼をし、まず礼を尽くして開会される大会に感激した様子を話され、また、ある文献を引用し、一箭に誠を尽くすのが弓道の真髄であると知り尚感動した、と挨拶をいただきました。

矢道の緑も清清しく、静寂のなかに、内藤支部長の矢渡しは厳かに行われ、高校生のはつらつとした競射が始まり市長杯争奪戦の火蓋は切られた。

高校の部 一人8射計24射 ○中 的中数
団体 一位 甲府工業A ⑰ 二位甲府工業B ⑱
三位 甲府商業B ⑭ 個人 一位 清水 郁 ⑧(甲府工業A) 二位 豊田尚希 ⑦(甲府工業B) 三位 深沢広志 ⑥(甲府商業B) 四位 小宮山智哉⑤(甲府東B) 五位 篠原竜馬 ⑤(甲府商業B)

一般の部 一人8射計24射 ○中 的中数
団体 一位 山梨学院大B⑯ 二位 山梨学院大A ⑯
三位 甲斐市A ⑬ 四位 甲府市E ⑫
五位 中央市A ⑩

個人 一位 若尾孟夫 ⑦(中央市A) 二位 岡田真弥 ⑥(山梨学院大C) 三位 滝沢 勉 ⑥(山梨学院大A) 四位 綿奈部博史 ⑥(甲府A) 五位 岡見敏彦 ⑥(山梨学院大B)

山梨県弓同連盟

遠の大会兼全日本遠の大会代表選考会

小瀬武道館弓道場 平成18年7月2日

高校生の部(参加6名)

優勝・深沢広志(甲府商業) 76点
二位・長田未穂(甲府商業) 63点
三位・窪田幸司(塩山高) 49点

有段者の部(参加33名)

優勝・坂牧雅夫 三段(笛吹支部) 72点
二位・水上梨沙 四段(笛吹支部) 64点
三位・酒井紀夫 三段(都留支部) 56点

称号者の部(参加8名)

優勝・佐野辰巳 教七(南部支部) 57点
二位・小沢重平 錬五(南巨摩北支部) 55点
三位・中込 実 錬五(南アルプス支部) 49点

伝達講習会に参加して 7月9日(新藤康平)

関東南部指導者講習会に参加された先生方がノートに書き取った注意点を列挙しました。先生から、順不同、系統立っていないがどうか?と言われましたが、大変参考になりましたので、書き留めておきたいと思えます。(抜粋です)

*執弓の姿勢の良し悪しでその人の射格がわかるといわれるように、構えにスキの無きよう生気体で。

*元祿で曲がる際にはなるべく小さなアールで。

*歩行中の足はなぜ平行にしなればいけないのか? 開くと膝が外向きに曲がるので体が左右に揺れる。

*動作は呼吸に合わせて、間合い、残身(心)をとって行う。*本座での正面に向いたとき、目線が動く、的を見ないように、的見は三度*入場時上座にきちんと意を注ぎ、礼をし、顔を上げたときの目線は4m先に。

*本座に座って膝を生かすタイミングがまちまち、息を合わせて。*射終わって射位から本座の斜めに下がる1歩は方向をしっかり定めること。

*立射での矢番えは肩の高さで、番え終えたら両腕は円相を保って左膝へ。*弓道は人として自己を高める修養道であるから自分勝手な行動は厳に慎む、審査などでは他人に迷惑のおよぶ事あり。*体調、動作に心が宿るとそれが作法になり自分が生きてくる。*礼は宗教的なものに対する礼ではなく、自分を高める為の修行をさせていただけるこの道場に対して感謝の意をあらわすものである。

(編集後記)期待される会報編集に努めたいと思えず、是非、情報を寄稿ください。また、各支部又はご自分の道場の話題、地域の弓にまつわる故事、等々をお寄せください、お待ちしております。

FAX 055-252-1938

メール kshin-05@mail2.nns.ne.jp